

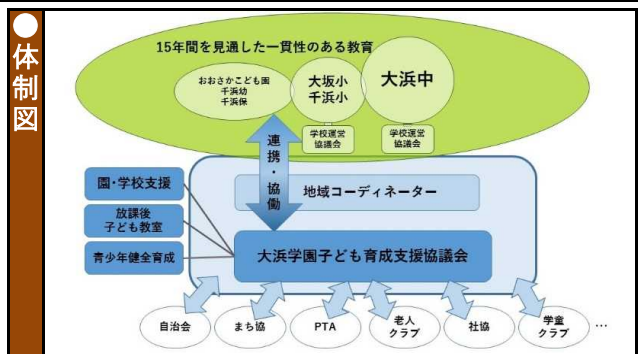
こんな活動です

中学校区学園化構想のもと 地域総ぐるみの教育で子育て環境を整備

| | | |
|--------|------------------|----------|
| 静岡県掛川市 | ●活動名 | ●関係する学校名 |
| | 大浜中学校区子ども育成支援協議会 | |

| | | | | | | | |
|--------------------|--|----------------|--------|-------------|-------|----------|--------|
| 協働活動開始年度 | 平成 25 年度 | 関係学校数 | 6 校 | のべ学級数 | 55 学級 | のべ児童・生徒数 | 1195 人 |
| 活動区分 | 学校支援活動 | 地域課題解決学習 | — | | | | |
| | — | 放課後子供教室 | — | | | | |
| 統括的な地域学校協働活動推進員等の数 | 配置人数 | 地域学校協働活動推進員等の数 | 配置人数 | | | | |
| | 1人 | — | 3人 | | | | |
| 学校運営協議会 | 指定・設置日 | ボランティアの数 | 延べ登録人数 | 企業・NPO等との連携 | 無 | | |
| | 平成31年4月1日設置 | — | 1802人 | — | — | | |
| 参考URL | www.city.kakegawa.shizuoka.jp/life/kosodate/kyoikuinkai/ohamagakuen.html | | | | | | |

| | | |
|------|----------------|----------------|
| ●連絡先 | 掛川市教育委員会 教育政策課 | ☎ 0537-21-1155 |
|------|----------------|----------------|



●活動の概要・経緯
平成25年度に、掛川市中学校区学園化構想が始まり、大浜中学校区においても「子ども育成支援協議会」が設立された。中学校区を学園と見立て、学園内の保幼小中の連携強化と、地域の教育力を園・学校教育に取り込むことを目的として活動している。大浜中学校区子ども育成支援協議会では、学園の活動方針に「子どもたちの成長を支援」「保護者の子育てを応援」「先生方の負担を軽減」の3つを掲げ、方針に沿った活動を展開している。協議会の会長と2人(令和元年度)の地域コーディネーターを中心に、学校支援、放課後子ども教室、青少年健全育成事業等の多彩な事業を実施している。平成31年度から学校運営協議会が設置され、これまで以上に、学校と地域の連携、協働が深まるものと思われる。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①学校支援…自治会、まちづくり協議会、老人クラブ等地域の多様な団体による学校支援活動を展開。千浜小学校では、校内花壇の整備を地域と学校が協働して行うことが伝統となっており、例年各種のコンテストで高い評価を受けている。また学園内の小中学校で校内を地域のギャラリーとして活用し、展示作品をとおして地域住民と児童・生徒の交流が生まれている。
- ②放課後子ども教室…小学校で実施している。夏休みは2校合同の「夏休み子ども教室」を約2週間実施している。老人クラブ、健康づくり食生活推進協議会、読み聞かせボランティア等多くの協力のもと多様な活動を行っている。また、中学生が子ども教室でボランティア活動を行っている。
- ③学園だよりの発行…活動趣旨、内容の啓発のため、学園だよりを定期的に発行し、地域住民に配布している。

【実施に当たっての工夫】

活動にあたっては、学園内で育てたい子ども像を設定し、園・学校と地域が共有している。地域内の組織、人の繋がりを重視し、活動の担い手を増やすことを大切にしている。多くの方に、子ども育成支援協議会のメンバーになっていただいている。いろいろな団体との連携が深まったことで、自治組織が行う子育て事業を合同で実施したり、地域のボランティアを協議会の事業で活用する等ネットワーク化も進んできている。また、地域ぐるみで子どもを育てることの大切さや、子どもたちの状況を地域住民に知っていただくために、学園だよりの発行や夏季集会を開催し、地域への情報発信、啓発活動にも力を注いでいる。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

活動を始めた頃は、地域で子どもを育てる意識や、地域が園・学校を支援することに対する意識はあまり高くなかったが、活動を行うことで理解が深まり、地域の自治組織や各種団体との連携した活動も始まるようになった。特に防災関係では、園と小学校、中学校との共同訓練を実施することで園と小中学校の連携を深められた。また、子どもたちが地域の防災訓練に積極的に参加し、学校での防災教育の成果を活用することで地域の一員としての意識が芽生えている。自治会単独で行っていた子ども向けの事業(芋掘り体験、しめ縄作り体験)が、子ども育成支援協議会で情報交換を行ったことにより、小学校区単位、中学校区単位で開催されるようになる等、近年では自治会や小学校区の枠組みにとられない連携・協働体制が構築されつつあり、幅広く地域の活力を取り込めるようになってきている。

● その他

当地区は海外線に近いことから、防災についても関心が高く、日ごろから地域と小学校、中学校が合同で防災訓練を実施しており、いざという時には、児童・生徒が地域の一員として活躍することが期待されている。



育園に
夏
関
集
校
の
季
集
の
演
告
の
様
子
等
を
実
施
教
育



休
み
時
間
に
茶
香
炉
の
香
り
で
リ
ラ
ク
ク
ス